

研究機関：広島大学

研究課題名	副腎腫瘍症例における表現型や内分泌検査との関連についての研究
研究責任者名	広島大学病院 内分泌・糖尿病内科 沖 健司
研究期間	2006年9月6日(倫理委員会承認後)～2025年3月31日
対象者	本院内分泌・糖尿病内科を受診した副腎腫瘍患者さんのうち、既に文書にて同意を得ている対象者の方。
意義・目的	副腎に腫瘍が発生する病気として、クッシング症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、骨髄脂肪腫、原発性副腎癌、転移性副腎癌などがあります。これらの疾患では、高血圧症、糖尿病、肥満、動脈硬化症との関連が示唆されています。そこで、当院においても副腎腫瘍患者様と上記疾患の合併率を調査し、有病率や発症率を明らかにすることで、危険因子の解明を目指したいと考えています。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。副腎腫瘍の患者さんの診療録(カルテ)から、性別、年齢、身長、体重などのほかに、診療時の検査で得た値などを転記します。また、通常の診療に必要な採血量に加えて、約16mlの研究用の採血をお願いいたします。採血は通常の診療時に合わせて行いますので、余分に針を刺すことはありません。蓄尿検査も余分に実施していただく必要はありません。そのほかに、光干渉断層計を使用して、眼疾患の精査を行います。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	ありません。
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 内分泌・糖尿病内科 沖 健司
試料・情報の他機関への提供および提供方法	この研究において、他の機関への試料・情報の提供はありませんが、この研究で得た試料や情報は、今後別の研究にて利用する可能性があります。その際は、改めて倫理審査委員会での審査を経た後、使用させていただきます。
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心